

CASBEE-建築(新築)2024年版
長岡京市立長岡第三小学校

■ 使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2024年版
■ 評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.8
Q1 室内環境			0.40		-	3.7
1 音環境		3.1	0.15		-	3.1
1.1 室内騒音レベル	—	3.0	0.40		-	
1.2 遮音		3.3	0.40		-	
1 開口部遮音性能	—	3.0	0.30		-	
2 界壁遮音性能	間仕切壁で遮音性能を確保	4.0	0.30		-	
3 界床遮音性能(経量衝撃源)	—	3.0	0.20		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	—	3.0	0.20		-	
1.3 吸音	—	3.0	0.20		-	
2 温熱環境		3.4	0.35		-	3.4
2.1 室温制御		3.8	0.50		-	
1 室温	—	3.0	0.60		-	
2 外皮性能	Low-eガラスを採用、各部には断熱を計画。	5.0	0.40		-	
3 ゾーン別制御性	—		-		-	
2.2 湿度制御	—	3.0	0.20		-	
2.3 空調方式	—	3.0	0.30		-	
3 光・視環境		4.4	0.25		-	4.4
3.1 昼光利用		4.6	0.30		-	
1 昼光率	昼光率3.3%	5.0	0.60		-	
2 方位別開口	—		-		-	
3 昼光利用設備	吹抜に頂側窓を設け、階段を明るくする計画。	4.0	0.40		-	
3.2 グレア対策		4.0	0.30		-	
1 昼光制御	バルコニーや庇による昼光制御、カーテンによる西日対策。	4.0	1.00		-	
3.3 照度	主要な教室、居室について500lx確保。	4.0	0.15		-	
3.4 照明制御	点灯・消灯の制御、調光制御が可能。	5.0	0.25		-	
4 空気質環境		3.8	0.25		-	3.8
4.1 発生源対策		5.0	0.50		-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の仕上材の採用	5.0	1.00		-	
4.2 換気		2.3	0.30		-	
1 換気量	—	3.0	0.33		-	
2 自然換気性能	—	3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮	—	1.0	0.33		-	
4.3 運用管理		3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視	—	1.0	0.50		-	
2 喫煙の制御	敷地内禁煙	5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能			0.30		-	3.7
1 機能性		4.1	0.40		-	4.1
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40		-	
1 広さ・収納性	—		-		-	
2 高度情報通信設備対応	—		-		-	
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化基準を満たし、確認申請交付済。	4.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30		-	
1 広さ感・景観	—	3.0	0.50		-	
2 リフレッシュスペース	—		-		-	
3 内装計画	コンセプト・機能に配慮した内装設計、バースでの事前検証	5.0	0.50		-	
1.3 維持管理		4.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計	防汚性に配慮した仕上を選定	5.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保	Ⅱ 維持管理に配慮し、掃除用具入れや点検口を計画している。	4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	—	3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能	—	3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数	—	3.0	0.20		-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔	—	3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔	—	3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	—	3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	—	3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	—	3.0	0.20		-	
2.4 信頼性		3.2	0.20		-	
1 空調・換気設備	—	3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備	節水型器具の採用、雨水利用を計画	5.0	0.20		-	
3 電気設備	—	3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法	—	3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備	—	2.0	0.20		-	

3	対応性・更新性		3.7	0.30	-	-	3.7
3.1	空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
1	1 階高のゆとり	1階が4.45m、2階3階3.95mの階高を確保。	5.0	0.60	-	-	
2	2 空間の形状・自由さ	各階の壁長さ比率は0.10	4.0	0.40	-	-	
3.2	3.2 荷重のゆとり	教室の床用積載荷重2900N/m ²	4.0	0.30	-	-	
3.3	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
1	1 空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
2	2 給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
3	3 電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
4	4 通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
5	5 設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
6	6 バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		—	0.30	-	-	4.1
1	1 生物環境の保全と創出	—	3.0	0.30	-	-	3.0
2	2 まちなみ・景観への配慮	長岡京市景観条例に準じている	5.0	0.40	-	-	5.0
3	3 地域性・アメニティへの配慮		4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域性に配慮した計画・内装選定を行った	5.0	0.50	-	-	
3.2	3.2 敷地内温熱環境の向上	—	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		—	—	-	-	3.6
LR1	エネルギー		—	0.40	-	-	3.9
1	1 建物外皮の熱負荷抑制	BRI=0.70	5.0	0.20	-	-	5.0
2	2 自然エネルギー利用(直接利用)	—	2.0	0.10	-	-	2.0
3	3 設備システムの高効率化	BElm=0.45、ZebReady取得見込	4.2	0.60	-	-	4.2
	集合住宅以外の評価		4.2	-	-	-	
	集合住宅の評価		—	-	-	-	
4	4 効率的運用に向けた取組み		3.1	0.20	-	-	3.1
	集合住宅以外の評価		3.1	1.00	-	-	
4.1	4.1 モニタリング	—	3.0	0.40	-	-	
4.2	4.2 運用管理体制	—	3.0	0.40	-	-	
4.3	4.3 非化石エネルギーの導入の拡大	—	3.0	0.10	-	-	
4.4	4.4 コミッシュニングの推進	発注者との協議、社内レビューにて確認	4.0	0.10	-	-	
	集合住宅の評価		—	-	-	-	
4.1	4.1 モニタリング	—	—	-	-	-	
4.2	4.2 運用管理体制	—	—	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		—	0.30	-	-	3.5
1	1 水資源保護		3.8	0.20	-	-	3.8
1.1	1.1 節水	自動水栓、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.7	0.60	-	-	
1	1 雨水利用システム導入の有無	雨水貯留タンクを設置	4.0	0.70	-	-	
2	2 雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	
2	2 非再生性資源の使用量削減		3.7	0.60	-	-	3.7
2.1	2.1 材料使用量の削減	—	2.0	0.10	-	-	
2.2	2.2 既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.20	-	-	
2.3	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.20	-	-	
2.4	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床材:ビニル床タイル(屋内)、ビニル床シート(屋外)、OAフロア	5.0	0.20	-	-	
2.5	2.5 持続可能な森林から産出された木材	—	3.0	0.10	-	-	
2.6	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材の分別が容易、OAフロア・移動間仕切壁の採用	5.0	0.20	-	-	
3	3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	3.1 有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30	-	-	
3.2	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	1 消火剤	—	-	-	-	-	
2	2 発泡剤(断熱材等)	—	3.0	1.00	-	-	
3	3 冷媒	—	-	-	-	-	
LR3	敷地外環境		—	0.30	-	-	3.2
1	1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO ₂ 排出率が84%	3.6	0.33	-	-	3.6
2	2 地域環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
2.1	2.1 大気汚染防止	—	3.0	0.25	-	-	
2.2	2.2 温熱環境悪化の改善	—	3.0	0.50	-	-	
2.3	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
1	1 雨水排水負荷低減	雨水貯留タンクを設け、敷地内の雨水流出を抑制。	4.0	0.25	-	-	
2	2 汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
3	3 交通負荷抑制	適切な駐停車、駐輪場スペース確保。	5.0	0.25	-	-	
4	4 廃棄物処理負荷抑制	—	2.0	0.25	-	-	
3	3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	1 騒音	—	3.0	0.33	-	-	
2	2 振動	—	3.0	0.33	-	-	
3	3 悪臭	—	3.0	0.33	-	-	
3.2	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.4	0.40	-	-	
1	1 風害の抑制	風害対策による要請なし。	3.0	0.60	-	-	
2	2 砂塵の抑制	防砂ネットを設置、舗装は芝を採用。	5.0	0.20	-	-	
3	3 日照阻害の抑制	—	3.0	0.20	-	-	
3.3	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明なし。	3.0	0.70	-	-	
2	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

3/3